

1/21(日) せと・しごと塾10周年



瀬戸蔵で「せと・しごと塾10周年記念祭」が開催されました。せと・しごと塾は地域の課題解決に向けて「地域ビジネス」での起業を支援する創業塾で、これまでに182人が卒塾しました。

会場では、せと・しごと塾で学び起業した約50人の卒塾生が、雑貨や飲食、美容などのブース出展や、起業に関するセミナー、ステージイベントなどを行いました。

また、卒業生が制作した「せと・しごと塾10周年記念冊子」は、産業課(市役所3階)・瀬戸商工会議所で配布しています。

2/3(土)~3/4(日) お雛さまで彩る陶のまち

「日本遺産認定記念 第17回 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり」が開催され、雛祭りに関する展示や限定ランチ・スイーツの提供など、さまざまな催しが行われています。

瀬戸蔵では約1,000体の陶磁器・ガラスの創作雛が並ぶ高さ4mの「ひなミッド」のほか、パーティセトでは不要となった雛人形を人のように生き活きと展示する「福よせ雛プロジェクトinパーティセト」が催されています。3月4日(日)まで開催。



市 政 ト ピ ッ ク ス

//// Municipal government topics

topics 災害時における物資の緊急輸送等に関する協定を締結



2月1日(木) 愛知県トラック協会尾東支部瀬戸旭・守山部会と「災害時における物資の緊急輸送等に関する協定」の締結式が行われました。

この協定により、地震などの大規模災害発生時に全面的な協力を求め、避難所へ支援物資などを迅速に配送できる体制の構築を図ります。

市長は挨拶で「東北や熊本の地震で被災された市町の首長から、物資を必要な人へ迅速に届けることが難しかったというお話を聞きます。災害時には日々の物流のノウハウを役立て、ご協力をお願いします。」と話しました。

topics せとまちブランディング推進

2月1日(木) 「第4回せとまちブランディング戦略推進会議」が開催されました。

会議では、市民・事業者・市が連携して取り組んできた日本遺産や瀬戸市のプロモーションなどについて、観光、メディア、旅行業者などさまざまな分野の委員による活発な議論が行われたほか、瀬戸信用金庫からは日本遺産認定記念イベントについて報告がありました。また、事務局からは今後のシティプロモーションの推進について説明があり、委員への協力が依頼されました。

